

表 2 「子どもの脳死診断および臓器移植に関して何かご意見が有りましたら、お書きください。」

自由意見抜粋(総数 121 件) アンケート全体回答総数 1445

【受容型】

1. 我が子が脳死 = ヒトの死とは受け入れがたいが、移植によって助かる命があると想うと、積極的に考えるべきだと感じます。信頼できる Dr. と話し、我が子の脳死を受け入れて進むことができれば希望すると思います。「明日は我が身。」いつ 3 兄弟がどうなるか分からないと想いながら子育てしています。ただ、どなたから頂きつながったいのちなのか、またはどの子につないだ命なのか、我が子がどんな形で生きていた意味があったのか知っていきたいのでお互いに知り、年賀状のやりとりなどつかず離れずの関係でいられるのもアリなのではと思います。
2. 今はニュースなど情報は入ってくるが、他人事としか思えない。万が一、自分の子がと思ったら事実受け入れられるかわからない。臓器移植をまっている子供も多いと思いますが難しい問題だと思いますし、簡単に答えが出る問題でもないと思う。
3. 提供を受けるかもしれないとの考えより、このような回答としました。
4. 脳死と診断されても、人工呼吸器などの装置を解除することで、子どもの命を絶つことが自分に果たしてできるだろうかと疑問が残る。その反面どこかで子どもの命が助かる状況も親としてありがたいことだと理解はしている。どちらも難しい事実です。
5. 臓器を必要とするお子さんの命を守れるのなら、子供がそのお子さんの体内で生き続けると信じ提供したいと考えます。
6. 脳死や臓器移植には興味があるので、自分はしても良いと思っているが、子供にも一個人として意見を聞いてみたいなどこのアンケートを通じて思いました。もし、本人達が望むのなら…。
7. 自分が脳死になった場合はいくらでも提供してかまいませんが、我が子となると自信ありません。説明によっては受容できるかもしれませんが。
8. 心停止後なら考えると思う
9. 短い子供の人生が移植する事で、他の方の為にもなり、新たな人生を送っていけるような感じがするので、受容出来そうな気もするが、すぐに体にメスを入れられると思うとその間で心が揺れるかもしれない。
10. 生まれてから手術を多くしてきました。亡くなる時にも痛い思いをさせるのは嫌だと思いますが、人の役に立てるなら移植も考えます
11. 逆だったら(移植を待つ側だったら)と考えたら、協力したい

12. 今までは自分の事として考えていましたが、あらためて子供のことも含め考えていきたいと思う
13. 逆の立場になったら移植してもらえるドナーの数が多い方が助かるので自分の子供が(もちろん自分も)誰かの役に立つなら提供したいと思う。そのまま焼かれて骨だけになるなら一緒だと思うので、移植後の遺体が見るも無残な姿にならないなら問題ないです
14. 自分が死んだ場合はドナーカードで使えるものは使ってと意思表示していますが、これが自分より先に死んだ自分の子供となるとものすごく考えると思います。でも移植してその子供が絶対に助かるのなら提供も悪くないかな?と思います。でも移植してその子供が絶対助かるのなら提供も悪くないかな?と思いますが、適しなかった場合はくやまれますよね…。他の子に提供してまで生きて欲しいと思うのなら。
15. 子供の死を受け入れるのはとてもつらいが、臓器移植によってつながる命があるならば考えたい気持ちになりました。
16. 下の娘の事故死のときに思いました。少しでもお役に立てるのなら!
17. 相互の考えもあるので必要に応じて移植はありだと思えます。その時にならないとわかりずらいところもあります。
18. 本当にその時にならないと分からないけど、きっと他の子供さんがたずかるならと思えます。
19. それで助かる命があるのであれば同意出来ると思えます
20. 助けられる命が移植によって生き続けられる事は良いことだと思えます
21. なかなか実際には受け入れることが難しいとは思いますが、他の子ども達が苦しんでいる方で、手術(移植)によって長く生きていけるのであれば、我が子がドナー側になったとしても「どこかで役立っている」「生きています」と思えると思えます
22. 少しでも助かる命があるのでしたら協力したいです
23. 大きな声で賛成とは言えないが、医療従事者の温かい寄り添いがあってこそその決断になると思えます
24. 死んでしまったら何もできないので他に移植されて役立てるならそうしたいと思う。子どもがちょっとでも移植のことがわかるようになって嫌というならしない方向で考える
25. 脳死診断に至るまで医者と家族の密の深い意見交流が不可欠であるし、その上での先生の判断なら親は納得すると思えます
26. もし自分の子供が他の子供さんの命を助けることができるなら、脳死でも身体がなくなってもどこかで生きていけると感じられる
27. 難しい決断だと思うが、どこかの誰かの命が救われるのなら私は思うし難病の方たちに良い治療がいきわたることを祈っています
28. 本人が希望するのであればよい

29. 我が子の死を受け入れるか、受け入れられるか今は考えられないが、子供の臓器で助かる命があるならきちんと考えていきたい。
30. 姿形がなくなるのは嫌だけど、他の子供が助かるなら嬉しい。自分の子供が移植してもらう立場になるかもしれないから。

【迷い型】

1. 説明のやり方とケアが重要だと思います。
2. 臓器移植については賛成 自分の子どもの脳死判定を受け入れることも別問題のような気がする 矛盾しているが・・・
3. 脳死での移植はできることならしたくないのが本音ですが、話は聞いてみたいです
4. 受け入れるのにかなり時間があるかも。
5. 脳死がヒトの死という事は理解しているが、「脳死」と判定するのに間違いがないかという点に疑問をもっている
6. わが子が脳死状態で提供する場合はなかなか受容できないが、逆の立場を考えると(提供してもらう側)小さな未来ある命を助けるために役に立てるならと少し思える
7. 「脳死」と判定された場合の立場では、一度取り付けた呼吸器をはずすことはとても難しいと思う。最初からつげずに「死亡」と判定された方が楽かもしれない。けれど、救命措置としてはつけて欲しいとも思う。立場によって気持ちがあまりに違いすぎるので、どれが正しいとルールを決めるのは実際とても難しいし、どの立場でも、誰かが悲しいと思う。
8. 説明と同意に尽きる。人によって伝え方、話し方がちがうから、前向きにとらえられるような話し方をしてほしい。
9. 「脳死」がヒトの死とは思いつらいです。体もあたたかくぬくもりを感じられるでしょうから・・・とはいえ、自分・子供の臓器が他の体で生き続けるなら移植も考えられます
10. 親心としては自分の子供が脳死判定されるととても悲しくうけとめられないと思いますがもし病気になり移植しないといけないとなるときっと移植をのぞむと思うので複雑です。
11. 自分が脳死の診断を受けたら、臓器提供希望しますが、自分の子供となれば難しいなと思いました。簡単には答えは出ません。死亡後も誰かの中で・・・とは思いますが・・・
12. 子供と話をし、もし脳死となったら臓器提供する意志の有無を聞いてくといいかないと思います。ただ、自分がその立場にならないとどう行動するか分かりません
13. 脳死下の臓器移植は何歳でも賛成です。自分であれば移植を希望しますが、我が子となるとすぐ決断できる自信はありません。

14. 自分の臓器なら「全部あげていいよ」と言っていますが、我が子となるとその場で「ではどうぞ」と言えるかは自信がない。提供するためにはよい状態で渡すのはわかっているが「脳死です」と診断されて、まちかまえていたかのように取りにこられたり移植の話をされると感情的になってしまいそう。
15. 現在、臓器移植は海外へ渡航し行われている状況にあるが、その状況が必ずしも良いとは思いません。(その国でも順番を待つ人がいるので)そのためにも国内で移植が出来る環境が整っていて欲しいと思います。もし、我が子が脳死となれば臓器提供したいと考えています。しかし、現実となった場合、決断と同時に目の前から存在が無くなる状況に耐えられるのか自信がありません。提供後、両親の精神的フォローの体制などは整備されているのでしょうか？
16. 手術で子供の身体にメスを入れるのをどうなのか もしくは違う人の中で命を助けに行き続けるのか どちらかと思えます
17. 臓器移植の考えには賛成だし、自分はドナーカードをもっているのですが、脳死等になった場合自分だったら役に立ちたいと思うけれど、我が子だと提供に賛成できるか分からないのが正直な気持ちです。
18. 頭ではわかっているが、我が子となると提供できないと思う。しかし、逆の立場で提供を待つ立場なら提供してほしいと思う。なので、どちらにしろ話を聞いてその時の決断になると思う。
19. 我が子が移植される立場になるとすごくありがたい事だと思えますが、我が子が移植提供の立場は正直考えられない。
20. 客観的には理解できる。我が子が移植が必要になった場合は助かるから。でも我が子が「脳死です。移植に協力を」と言われるとやっぱり戸惑う。人のためになってほしいけど、認めたくない部分もあるので。
21. 我が子が移植を受ける立場になるかもしれないと思えば、同じくらいの子から移植出来ることがベストだと思いますし、理解し、提供すべきと考えますが、母親の感情として子の死を受け入れ役に立てて欲しいと今すぐ決める様になった時どのように判断するかは実施件数も少ないため想像もつきません。
22. 脳死によるドナー提供には問題ない。自分なら提供したい。ただ子供となると実際に受け入れられるかは分からない。
23. 頭では理解していてもなかなか心がついてこないものです(我が子ですから)そういったケア体制をしっかりとってもらえるといいと思います
24. その時になってみないと何とも言えない

25. 自分勝手だとは思いますが我が子が病気になれば移植して元気になって欲しいと思うはず…。でも脳死状態になった時に臓器をあげるとは考えられないかもしれない。自分の臓器であれば喜んで臓器提供できるのだが…。
26. 心がつまる思いですが、助かる命があるならば考えは左右すると思います。できれば最期まで看病したいのが本音です。
27. とてもよいことだとは思いますが、その時になってみないとわかりません。脳死状態を死と受け入れれば一生命の終わりを決めたのは自分だと思ひそうです。でも、受ける側であればまた真逆だし、難しいです
28. 人のためになるのであればという事で考えると提供しなければと思う気持ちがあるが、家族の死をうけいれるまでの短い時間できめなければいけない時…臓器移植という答えをだすには時間があっても難しいことだと思う
29. 移植により助かる命があれば助けてあげたいが自分の子が脳死と言われ受け入れることができるのかは…。これからゆっくり考えたいと思います。
30. 病気で苦しい思いをしている子にとっては良いことだと思うが、我が子が脳死と言われても目の前に身体は生きて温かい子がいたら受け入れられるのかどうか分からない
31. いざ自分の子供が…と考えるととても悩みます。できるだけ長く一緒にいたいです。ただ、生死を分ける状態のお子さんもいるという現実もありますのでよく考えないといけなひと思ひいます
32. 自分の臓器はまよわず OK を出せますが子供となると OK を出せるのか？ 出せるまで時間がかかると思ひいます
33. 自分が脳死となれば臓器提供も考えられるが子供となると難しいと改めて思ひました。
34. 自分の子供の心臓が動いているのに臓器を取り出し提供する…なんて辛くて考えられなひけど、自分の子が臓器提供してもらわなひといけなひ疾患なら誰かに提供して欲しいと思ひ…勝手ですが、正直な気持ちです。
35. 必要だと考えるが、自分の子供がそうなった時に脳死を認められる自信がなひ。脳死を認められるなら臓器提供できるかも
36. 自分の子供が脳死とされると本当にいやだと思ひますが、もし臓器移植を受けなひといけなひときがきたら脳死をされた方の臓器提供を待つと思ひし親の気持ちとして複雑です
37. 大切なことだとは分かっているが我が子が脳死の時、臓器提供出来るか分からない
38. 脳死と判定されても元に戻るかもしれないと最初は思ひ 年月がたつてダメかもと思ひようになれば移植に同意する
39. とても難しい問題と思ひいます。我が子が提供となると考える事が多ひです。我が子が受ける側だと提供して欲しい気持ちです。

40. もし自分の子が脳死と言われてもすぐに受け入れる事は出来ないと思いますが、移植により一人でも多くの方が救われるようになってほしい。
41. その時になって考えないと分からないが、やはり決断するには時間が要すると思います。まず、受け入れられるかが分からない。しかし、子どもの一部が生きていると思えることも出来るのかもしれませんが、複雑です。
42. おおまかには理解はしているつもりですが、実際当事者になった場合には分からないのが現状です。
43. 脳死と診断されて、他の子のために！って、頭では分かっているけどやはり自分の子の身体に傷をつけてしまうと考えると臓器移植をためらってしまいます
44. 提供してもらう場合と提供する場合では自分の中で考えが定まらず説明・話は聞いてから考えていきたい。
45. 子供でも臓器移植が可能になったことは困っている人がいる以上喜ばしいこととは思うが、当事者になったときに自分が決断できるかどうかはわからない。
46. 臓器移植を待つ側の方を考えるととても賛成です。しかし、自分の子供が提供する側になるとすんなりとは出来ないと思います。心情的にはその時が来ないと考えられないです。
47. 自分や夫であれば賛成だし、臓器提供もむしろ希望するが、子供となるとなってみないとわかりません

#### 【否定型】

1. 話は聞くかもしれないが、多分考えられないと思う
2. 医療従事者です。臓器移植に関しては理解していますし、賛成なのですがいざ、わが子と考えるとはっきりと提供しますとは言いがたい所があります。
3. 非常に難しい問題です。
4. 人の助けになるという思いはありますが、実際に我が子がそのような状態になった場合、脳死は受け入れられないと思います。
5. 一般論と我が子では同じ考えに至らないことの方が多気がします。
6. とても考えるアンケートでした。脳死が受容できないのに、はたして説明が聞けるのか微妙です。死に対する情報や学ぶ場が少ないと思います。
7. 受容できないが、特別な案件がある場合はそのとき考える。
8. 子供の脳死を想像出来ず、アンケートにあまり協力出来ませんで、すみません。
9. 我が子の事となると臓器移植には抵抗がありますが、脳死診断をされた別の親御さんが良いと言うならそれはそれでいいと思います。

10. 実際はその時になってみないと分からない。脳死に至るまでの経過にもよると思う。突然そうなった場合、受け入れるのはむずかしいかもしれない。
11. いくら法改正で15歳未満小児も認められるとしても死亡時の状況にもよると思うし、やはり親(特に母親は)として15歳未満という年齢はなんかひっかかります
12. 我が子の脳死と診断されても親は到底受け入れることは難しいし、もしかしたらまだ希望があるのではないかと思うと思います。一方で臓器提供を待つ重篤なお子さんがたくさんいらっしゃるのも事実なので、とても難しいです。
13. 脳死状態でも意識回復する可能性は0%ではないと思う
14. 理性では必要だとわかってても感情がなかなか受け入れられないと思う
15. 知識不足ですが、「脳死がヒトの死」であることを認めきれません。状態が何かしらの可能性が、運が非常に良ければあるのではないかという考えがすてきれません。
16. 脳死状態であったとしても他の機会の力をかりてでも心臓が動いていたら奇跡を信じて「死」を受け入れられないと思います。それが自分の身におこったことなら家族には「死」を受け入れてほしいと思って延命措置は望みませんが、やはり家族の身におこるところは思えません。ただ「他の人の身体の一部として子供の臓器が生き続ける」とも思えるかもしれません。
17. ドナーの親の気持ちを思うと複雑です。自然死が一番です。
18. 脳死状態になると1%もしくは 0.0%でも治る可能性はないのでしょうか。自分自身が脳死診断を受け、臓器移植をすることはかまわないのですが、0%でないなら子供の脳死を受け入れられない気がします。例え、0%でも、受け入れられるか分からないなと思ってしまいます。
19. 本当にもう二度と意識が戻らないのであれば臓器提供したいが、万が一誤診があるかもしれないので、積極的には考えられない。1%でも意識が戻る可能性があるなら提供したくない
20. 自分の子供が脳死と診断を受けた時、現在の脳死診断基準が完全なものかどうか不安になると思う
21. 今まで考えたこともないです。基本自分の持って生まれたもので生きられないようなら移植して〜という考えはないので自分や身内がそうなってもどちら側にもならないと思う
22. 自分については脳死について考えられるが、子どもについては考えられないと思った。難しい
23. 日本人の生死観ではなかなかむずかしいと思います
24. 脳死について理解はしているが、我が子の事となると心理的に受け入れられないと思う。

25. よくわからないし、考えられない。我が子が移植して助かるならしたいが、死んで提供となると考える。渡したくないという気持ちが高いかも。
26. 親自身診断を受け入れるまでに時間がかかるかもです。
27. 合理的な話だし、もっともだと思ふ反面、日本の文化の中で育ったのでなかなか受容できない。

【その他】

1. 子どもの臓器移植のニュースを見て、50代60代の人に移植するより、10代20代せめて30代位の若い人達優先に移植できないのかと思った
2. 移植される側が、それだけの人間的価値があるのかを考える
3. 難しい問題だと思いますので勉強しないとハッキリと回答できません
4. 脳死後どのくらいの確率で意識が戻るかなど、脳死に陥った場合は細かいデータと一緒に詳しく説明して欲しい
5. まだ脳死診断について詳しく知らないのでまだしっかりした意見はありませんが、話を聞く機会があれば聞いてみたいです。
6. 想像してみるだけでは複雑な気持ちもある。当事者になった時にはっきり見えてくるかもしれません。
7. 難しい問題
8. 生老病死をないがしろにして科学とはなんぞや
9. 脳死診断の診断項目を明確にしていただければ前もって考えておくことができると思う(もしもの時は気が動転して考えられないから)
10. テーマがおもすぎるので考えたことがないです
11. 通常の死(事故等)も受け入れ難い精神状態になっていると考えられる為説明もゆっくり一つずつ慎重に行ってほしい
12. 今はあまり深く考えてないのでなんともいえません
13. 実際その時になってみないと分からない
14. 移植もやりすぎるのもなあ・・・というイメージ年齢を設定するのも1つの手だとは思いますが
15. その立場になってみないと何とも・・・
16. 深く知らないのによくわからない部分もある 想像してみたり考えたりする時点でかなり辛くてそれ以上考えたことがない。
17. 臓器を提供する側とされる側と立場が変われば意見も正反対になると思うが、どちらの立場にもならないとは言えないので、こういう活動は必要だと思う。



